

V. 子育て支援者へのグループヒアリング調査

1. 調査の概要

(1) 目的

保育所・幼稚園・児童会館等の現場スタッフ及び子育て支援を行っている市民活動団体関係者から、子育て支援の現場における本音を引き出すこと。

(2) 実施日時：令和6年2月17日（土）14:00～17:00

(3) 会場：かでる 2.7 1020 会議室（札幌市中央区北2条西7丁目）

(4) 参加者

○保育所・幼稚園・児童会館等の現場スタッフ及び子育て支援を行っている市民活動団体関係者 15 名。内訳は下記の通り。

- ・保育士 : 5 名
- ・幼稚園教諭 : 4 名
- ・児童会館スタッフ : 2 名
- ・民間児童育成会関係者 : 1 名
- ・市民活動団体関係者 : 3 名

(5) 実施方法

○「グループワーク Q&A 方式」にてグループインタビューを行った。その手順は下記のとおりである。

- ①参加者に 5 名の A～C グループ（テーブル）に分かれてもらい、各テーブルにインタビュアー1 名を配置。
- ②インタビュアーは質問票を提示し、参加者はそれに応じた回答を手元の付箋に記入。
- ③記入後、各参加者は順番に模造紙（ワークシート）に付箋を貼り付けながらその内容を説明。
- ④インタビュアーは必要に応じて補足質問を行い、回答内容を付箋でワークシートに追記していく。
- ⑤参加者同士の会話（同意・反論、補足等）についても、インタビュアーは付箋にて記録。

○グループ分けは、下記のように行った。

グループ	種別	人数
Aグループ	保育士	2名
	幼稚園教諭	1名
	児童会館スタッフ	1名
	市民活動団体関係者	1名
Bグループ	保育士	2名
	幼稚園教諭	1名
	児童会館スタッフ	1名
	市民活動団体関係者	1名
Cグループ	保育士	1名
	幼稚園教諭	2名
	民間児童育成会関係者	1名
	市民活動団体関係者	1名

(6) その他

○参加者にはグループヒアリング参加の謝礼として 3,000 円相当のクオカードを差し上げた。

2. グループインタビュー風景



主催者挨拶



グループヒアリングの進め方を説明



グループインタビュー風景



グループインタビュー風景




会場の全体風景



作成したワークシート

3. インタビュー設問シート

質問項目や質問に関するアンケート調査結果を記した下記の A3 判のシートを参加者に提示しグループインタビューを行った。

<p>ヒアリング設問シート ～子育て支援者向け～</p>  <p>0</p>	<p>Q1 (自己紹介:職業、お名前… を言った上で)</p> <p>現在の仕事で一番やりがいを感じ ることはなんですか？</p> <p>1</p>	<p>Q2 日々お子さんや子育て世帯と 関わっていて、どのような もどかしさ、大変さ、困難さを 感じますか？</p> <p>2</p>
<p>Q3 (1) Q2で出たご意見を改善する ためには、どういったことが 必要か／どうすれば解決 できると思いますか。 (2) Q2で出たご意見に対し、実際 に改善できた対処法や工夫 などがあれば教えてください。</p> <p>3</p>	<p>Q4 子育て支援者同士・他の関係 機関とのつながり・連携について、 課題だと思っていることを 教えてください。</p> <p>4</p>	<p>Q5 (1) 最近のお父さんは積極的に子育 てに関わっていると思いますか？ (2) (仕事の時間を減らす以外で) どうすれば／どういう働きかけが あれば、お父さんは(今より)積極 的に子育てに関わるようになると 思いますか？</p> <p>5</p>
<p>Q6 最後に、子育て・ 子育て支援に関して 「札幌市にこれだけは 訴えたい！」ということが あれば。</p> <p>6</p>		

4. グループインタビュー調査結果の概要

Q1 現在の仕事で一番やりがいを感じることはなんですか？

- 多くの方が「子どもの成長を感じられること／見られること」「子どもの笑顔が見られること」を挙げている。

Q2 日々お子さんや子育て世帯と関わっていて、どのようなもどかしさ、大変さ、困難さを感じますか？

- 子育て等について悩みを抱えている保護者に対し「どの程度まで踏み込むべきか」「相談してこない保護者に対し、どのようにアプローチしたら良いか」などの意見が挙げられている。
- また、「保護者自身に問題意識がない」「保育園任せになっている」といった保護者への対応の難しさや「集団生活と家庭生活との違い」による理解不足なども挙げられている。
- その他、支援が必要な子どもおよび保護者への対応に時間をとられ、「他の業務に十分な時間をかけられない」といった意見も見受けられた。

Q3 (1) Q2 で出たご意見を改善するためには、どういったことが必要か／どうすれば解決できるとお思いますか。(2) Q2 で出たご意見に対し、実際に改善できた対処法や工夫などがあれば教えてください。

- 保護者への対応を改善する方法としては、「保護者との情報共有（動画等の活用）」「保護者との対話を重ねる」などが挙げられており、長期的に保護者とのやりとりを重ねることで信頼関係を築くことが重要である、との考えが示されている。
- 具体的には「（参観日などの時に）とにかく話す」「保育士全員で情報を共有し、相談しやすい体制を構築する」などが挙げられており、その結果「信頼してくれて、よく相談してくれるようになった」と、手応えを感じる意見があった。
- 他業務への対応等については「職員の増加」のほか、「仕事内容の見直し」「削減できる・分担できるものは割り振る」などの意見も見受けられた。
- 具体的には、「大学生をスタッフに招き入れ、会議などにも出してもらうことで関わってもらった」「（支援が必要な子どもに対し）デイサービスの利用を増やしてもらった」などの対処法が挙げられた。

Q4 子育て支援者同士・他の関係機関とのつながり・連携について、課題だと思っていることを教えてください。

- 子どもの発達や困りごとについて悩むことも多いため、「気軽に相談できる場が欲しい」「（保護者が子どもの発達等について相談がすぐできるように）病院の予約を取りやすくしてほしい」等の意見が挙げられた。
- 「幼稚園・保育園と小学校とのつながりはある」ものの、「（地域によっては）つながりができるまでのハードルが高い」との意見が挙げられた。また、小学校以外の連携は各施設・機関ともほぼない状態であり、どのように関わり・つながりを持つかが課題として挙げられている。

○課題解決の方法としては、今回のグループヒアリングのように「子育てに関する機関や個人と交流する機会を設ける」「子育てや教育に関する学びの場を設ける」などの意見が挙げられた。だが、一方で「普段の業務に忙殺されると連携を取りたくても取れない」といった課題も挙げられている。

Q5 （１）最近のお父さんは積極的に子育てに関わっていると思いますか？（２）（仕事の時間を減らす以外で）どうすれば／どういう働きかけがあれば、お父さんは（今より）積極的に子育てに関わるようになると思いますか？

○父親の子育て参加については、全体的に「Yes」「(昔に比べて) 関わっている」などの意見が多い。また、「関わっている人」と「関わっていない人」の差が大きい、子どもの送迎や行事参加など積極的に関わっている人がある一方で、子育てに一切関わらない（関心がない）人もいる、との意見も見受けられた。

○積極的に関わるようになるためには、「性別役割分業意識を取り除く」「子育てに対する意識を変える」等の意見が見受けられた。そのためには、「母親の実情を知る」「子育てに関わっている父親の話聞く」等の情報発信、「行事等に参加する」等の体験の場の創出、などが挙げられた。

Q6 最後に、子育て・子育て支援に関して「札幌市にこれだけは訴えたい！」ということがあれば。

○多くの方が「保育士の人材確保」を挙げており、また、そのためにも「給与の増加」「施設への補助金」を訴える意見が多く挙げられている。

○また、「情報発信」の重要性についての意見も多く、「保護者」に向けた子育てに関する情報や「保育士・幼稚園教諭」等を目指す人への PR、「国」への支援要求、関連機関との情報共有を訴える内容などが見受けられた。

5. グループヒアリング全回答結果

Q1 現在の仕事で一番やりがいを感じることはなんですか？

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
A1	NPO 等	多世代の居場所できつろいだり、和やかな表情で帰路についたりする参加者やスタッフの姿を見たとき
A2	幼稚園教諭	喜怒哀楽をしっかりと感じる事ができたとき
A3	保育士	子どもが何かできるようになった瞬間に立ち会えたとき
A4	保育士	スポーツ大会や発表会などの練習を重ねた末に臨んだ行事のあとや、子どもと心が通じ合った・わかりあえたと感じた瞬間
A5	児童会館	子どもの成長が見られる。0～18才の施設なので、大きくなった姿が見られること
B1	保育士	小さなことでも子どもが成長した瞬間に立ち会えたとき
B2	幼稚園教諭	子どもたちの笑顔を見ているとき。保護者と成長を共有しているとき。職場で同じ志を持ち、力を合わせているとき
B3	NPO 等	ちょっとしたことで悩みとかお話ししてもらえること。保護者の方が笑顔になって帰っていったとき（保護者同士がスタッフを介さずお友達になったら嬉しい！）
B4	保育士	長く続けることで、長期的に子どもたちの成長を見られること！
B5	児童会館	楽しかったと言っている人を見たとき。相談とか愚痴を言ってくれたとき
C1	民間児童育成会	子ども成長や楽しそうな様子が見られたとき
C2	幼稚園教諭	幼児教育の質を高めるために考えること。子育てをしている保護者のために何ができるか考えているとき。子どもたちの成長を感じるころ
C3	幼稚園教諭	子どもの成長を感じたとき。保護者と共感し合えたとき。職員（新人）の成長を感じたとき
C4	保育士	子どもの笑顔を見ているとき。できなかったことができるようになり、子どもと一緒に達成感を味わえたとき
C5	NPO 等	利用者（保護者）の方の悩みに答えて解決できたとき。子どもの成長を保護者の方と共に喜び合えたとき

Q2 日々お子さんや子育て世帯と関わっていて、どのようなもどかしさ、大変さ、困難さを感じますか？

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
A1	NPO 等	親御さんの SOS に対応できないとき。〔他機関との連携（児童会館等）〕具体的な困りごとに対し、どこまで寄り添い受け止めるべきか（離婚・DV・不登校等）。〔予算の枠が決まっているので、その範囲でしかできない〕スタッフが十分に確保できず体制に苦慮〔スタッフを確保し、次世代につなげたい〕
A2	幼稚園教諭	就労している方・していない方で色々な考え方があるので、行事一つ行うことも難しくなってきた。「みんな違ってみんな良い」が通用しないことがある。
A3	保育士	相談してくる方だけでなく、相談してこない方との情報交換の方法。〔相談してくれない親御さんにはどうしたらいい？〕一人一人と関わる時間が限られてしまうこと。〔あの子には対応してくれるのに、うちの子は対応してくれない〕どうしても問題を抱えている方に目が行きがちになってしまうが、そうはしたくない。
A4	保育士	送迎時などの様子を見たり話をしたりしたとき、困難を抱えていそうだったので「こうしていきましょう！」と保育士とお母さんで話し合ったが、それをうまく実行できていないな…と感じたとき。〔昔より子どもに振り回されている親が多い気がする。相談には乗れるが、変わるところまでは踏み込めない〕習い事や勉強に力を入れているが、子ども自身はそれを喜ばないのでは…と思ったとき。
A5	児童会館	個別の対応や支援が必要と思われる子・家庭が多いが、個別対応ができていない現状。職員数・体制に限界がある。〔有期限の職員には全て任せるわけにはいかない。個別対応したくても人手が足りない〕

Q2 続き

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
B1	保育士	保育時間が長く、保護者・子どもともに負担が大きい（保育士も）。サポートしてくれる人がいない。園が目指している保育と保護者が求めているものが違うとき、どう理解・納得してもらうか。 <u>子どもの集団での姿と家庭での姿が違うことを、保護者の方とどのように共有するか。</u>
B2	幼稚園教諭	排泄の自立の遅さ。 <u>発達の心配ごとに気付けない。その子らしさととらえ、集団での困りごとに気付けない。</u> 「自由を尊重」しかわからない（どうしてよいのかわからないのか…?）。子どもと遊べない保護者が増えた!!（共感、受容が苦手）。愛着形成が気になる。
B3	NPO 等	不登校児の集団に入れない子どもには、行く場所がない。情報が無くて困っている（発達障害、ダウン症など）。一方で、情報が多すぎて迷っている（一般）。 <u>子育ての責任を一人で、あるいは家族だけで抱えている。サポートする立場として、広場に來てくれない人にどうやってリーチするか。</u>
B4	保育士	「保育士の加配を」と言われているが、人数だけじゃない。保育の中で大切にしている関わりを、保護者と共有できないことがある。子どもの成長や変化を結果でしか見てももらえない。 <u>多忙な中「保育園まかせ」になっていないか?〔預ける側・預かる側の働く環境〕</u>
B5	児童会館	課題を抱えているお子さんへの対応。人手不足で満足にできない時がある。 <u>また、課題を持っているお子さんがいるけど、その保護者があまり困った様子がないとき。有料の行事に参加したい子がいるが、家の人に言いたがらない。良い所もたくさんあるのに、悪い所にばかり目が行く保護者への対応。</u>
C1	民間児童育成会	要望に対してうまく進められなかったとき。子どもが待っているが解決してあげられない時。
C2	幼稚園教諭	支援の必要なお子さんの保護者対応。保護者の要望にどこまで応えてあげたら良いのか悩む。子どものために努力している先生の大変さが伝わっているのだろうか?〔親の意識：親の判断力低下、時間を守る連絡がない、ルールを守れない〕
C3	幼稚園教諭	<u>判断できない母が増えてきたように感じる。その判断を求められる機会が多い。周りに子育てをフォローしてくれる方がいない家庭が多い。母もどう子と向き合ってよいかかわらず。その対応に難しさを感じる。</u>
C4	保育士	子どもの体調不良やいつもと違う様子のときに保護者へ電話する際、短い期間で回数が多いと仕事を調整してお迎えに行く保護者が大変に感じる。時間外保育で利用している家庭だと忙しいだろうと心配になる。
C5	NPO 等	本当に困っていることで対応できないことがある。一時預かり、家庭訪問支援、発達に関することなど。 <u>本当に困っている方が来館できていないので、もっと「子育て支援拠点」を広めたい。〔情報の伝え方：困っている人へ伝わらない〕</u> 行政に訴えたいことが多い。

Q3 (1) Q2 で出たご意見を改善するためには、どういったことが必要か／どうすれば解決できるとお考えですか。(2) Q2 で出たご意見に対し、実際に改善できた対処法や工夫などがあれば教えてください。

番号	職業・所属	回答内容(※〔 〕はインタビューアーによる補足)
A1	NPO 等	(1) 小さい地域割での定期的な情報共有や双方で見守る仕組みづくり。(2) 出来る限り関係機関と知り合えるよう努力している。
A1	NPO 等	(1) 子育てを支える人材を十分に増やす(丁寧に関わる)。スタッフ自身も守られる(疲弊しない)ようにするために。(2) 大学生をスタッフに招き入れ、会議などにも出てもらうことで関わってもらった。[大学4年生にボランティアをお願いしたこともあった。小学校の先生、子どもコーディネーターにも協力してもらう]
A2	幼稚園教諭	(1) かわいい姿をたくさんみてもらいたい! 動画等を活用する(誰がする?)。[プライバシーセキュリティを考えるとアナログが一番](2) 保育のアピール、ねらいを明確に伝えていく。
A3	保育士	(1) 仕事の見直し。削減できるものはないか考えていく。職員の数を増やす。保育の良さを知らせていく方法を考える。[保育の良さをアピールすることで人員増につなげる](2) クラスに関係なく保育士全員で全ての子どもを見て・話している(職員同士で情報交換もしている)。[特定の保育士でなく、誰でも相談できるようにしている。児童会館では子どもにも準備をやらせることで職員の作業時間を短縮。「つきさっぷ」では音頭をとってくれる人がいる。口伝えて広まった]
A4	保育士	(1) 長期的に信頼関係を築く(相談に乗る、「保育園でこうしたらこんな風に変化しましたよ」と伝えていく)。[小さなことから少しずつ関わって信頼を積み重ねる(親子どちらとも)](2) 十分に改善できたかまではわからないが、 <u>信頼してくれて、よく相談してくれるようになった。</u>
A5	児童会館	(1) 職員を増やす、職員の質を上げる。採用活動はしているが、十分に人材確保できていないので待遇を良くする。(2) <u>デイサービスの利用を増やしてもらった</u> (外部の方の協力も得て)。[放課後デイを探すのも一苦労。前年10月から探さないと入れない。親の意識が低い?「居場所があればそれでいい」と思っている感じ] 親子バス遠足をやめた(行事削減)。
B1	保育士	(1) <u>第三者の方が間に入ってサポートをしてくれるシステムの構築。</u> 保護者支援をするのならその分の人手を確保。
B2	幼稚園教諭	(1) 発達の心配…参観、懇談、Tel 等で共有(父がストッパーになるケースも多い)。子どもと一緒に遊ぶ参加型参観日を実施し、遊び方、育ちを共有する。(2) 参観等でとにかく話す。ポートフォリオで育ちを伝えていく。 <u>園長、主任、担任、様々な視点で伝える。</u> WC、スマホ…懇談会等でお手紙を作成し配布。私の言葉で伝えた。[お便りを見てくれない→動画アプリなどを活用]
B3	NPO 等	(1) <u>決めつけしないで関わっていく。</u> 困ったことを共有する。子どもと遊べないお母さん。スタッフとの関わりを増やす(学習イベントなど)。(2) 情報について。 <u>ひろばでたくさん話す!</u>
B4	保育士	(1) <u>園で大切にしていることを継続して伝える。</u> 少しでも理解へつなげる。対話の時間をたくさん作る(母→父だと伝わらないこともある)。 <u>活動の動画をもっと活用する。</u>
B5	児童会館	(1) <u>保護者の方とのコミュニケーションを日々とるようにする。</u> (2) いいことなどしてくれたときに、お便りとかポスターとかで発信する。
C1	民間児童育成会	(1) <u>父母の方との共有。</u>
C2	幼稚園教諭	(1) <u>保育士増員(子育て支援者)。</u> 施設・事業所との連携。子育ての大変さ、大切さを社会全体が理解していく。
C3	幼稚園教諭	(1) 幼稚園、保育園、認定こども園とも人員不足なので助成金を増やすこと、 <u>事務職を置くこと、トイレができないのは当たり前と考える人を増やす。</u> (2) 不登校のお子さんも広場に来ていいようにした。
C4	保育士	(1) 支援の必要な子の保護者に寄り添い気持ちを聞いてもらう。継続も含めて沢山話す機会を意識して持ちアプローチしていく。相談機関の充実。デイサービスとの関わり。[支援施設との連携。デイサービスとの関わり、学び、相談できる]
C5	NPO 等	(なし)

Q4 子育て支援者同士・他の関係機関とのつながり・連携について、課題だと思っていることを教えてください。

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
A1	NPO 等	行政からの情報は降りてこない（こちらの情報は求められるが…）。どうサポートする？〔結果報告ではなく、一緒に課題解決のプロセスに関わりたい〕官民共同の仕組みが見えない…課題のせいで現場が入れない？どの課題がどこにあるのかが見えづらい。他機関と日常的に関わりを持つきっかけが今はない。
A2	幼稚園教諭	職員の知識不足。 <u>どのように学んでいくか（研修、会議等）</u> 。気運・熱量を上げていく！！〔ただし、仕事が増えると謀殺される〕
A3	保育士	今回のグループヒアリングのような交流機会をもっと増やしていく。〔小学校区、それ以上狭い範囲からはじめる〕他機関を把握する方法。課題解決を実現してくれるかできるか。
A4	保育士	昔より小学校との連携は増えているのでは（各子どもたちの引継ぎ、交流など）。しかし、他機関との連携は正直なところほぼない。 <u>「保育園・幼稚園と小学校」というイメージはあり「伝えていかなきゃ！」</u> とは思うけど、そこに「児童会館」という考えがない。〔小学校とは違い、保育園と児童会館はつながりが薄い。つながりができるまでのハードルが高い。あと、誰が音頭として実施するのか〕
A5	児童会館	温度差？職員、施設間つながりが密ではない職員が入れ替わる？お互いよく分かっているのかも。〔勤務時間内にやる（休みの日は集まりにくい）〕
B1	保育士	資格がないと関われないと思われる！？来てほしい…。 <u>学校の先生とのつながりは多少あるが、児童館の先生とのつながりはない。</u>
B2	幼稚園教諭	小学校の先生に幼児教育を知ってほしい！！また、交流はあるが学び合いができない。発達の相談ができるところが少ない（数か月待ち）。保育士も子どものことで悩んでいる。 <u>心理カウンセラーと繋がれると相談しやすい</u> 。〔気軽に相談できるようになってほしい〕
B3	NPO 等	困りごとをワンストップでうけてくれるところがない（行政）。保健師さんに言われたことがショックすぎる（言い方、コミュニケーション不足）。 <u>地域の子育て関係者の集まり、もっと多くてもいいと思う</u> 。また、ひろばの地域差が大きいので、ひろば担当で集まって研修したい。
B4	保育士	デイサービス利用が増えている。気になる子への支援をしているところもあるがもっと連携できる？
B5	児童会館	<u>小学校とは関わりあるけど、それ以外（保育園・幼稚園とか）は薄い（場所による）</u> 。
C1	民間児童育成会	つながり方がわからない。コロナでつながりが途切れてしまった。〔顔を合わせる機会（地域のお祭りなど）交流の機会〕
C2	幼稚園教諭	日々業務に追われている。幼保と小学校連携のハードルが高い。目指す方向性は…。
C3	幼稚園教諭	病院予約が取れない。〔発達診断。気軽な相談の場、機会〕「さっぽ・こども広場」との連携〔広場の役割が不明確〕
C4	保育士	病院の予約がかなり取りにくい。 <u>もっと気軽に相談できる場所があれば…</u> 。
C5	NPO 等	子育て広場、子育て支援拠点の横のつながりを増やして交流し、アイデアを出し合う。地域の幼・保・認との交流を増やしていく。また、保護者同士の交流の場も増やしてはどうか。〔園と小学校は、新型コロナの流行で対面から電話に変わった。園に小学校の先生が来て様子を見てくれると良い〕

Q5 (1) 最近のお父さんは積極的に子育てに関わっていると思いますか？(2) (仕事の時間を減らす以外で) どうすれば／どういう働きかけがあれば、お父さんは(今より)積極的に子育てに関わるようになると思いますか？

番号	職業・所属	回答内容(※〔 〕はインタビューア－による補足)
A1	NPO 等	(1) Yes (2) 母の状況を知る。お父さん同士のつながり、お父さんから発信。〔お迎え、手続きに来る父親も増えている〕
A2	幼稚園教諭	(1) Yes (2) お父さんに限らず「丸一日経験してね」をポイント制で。
A3	保育士	(1) Yes (2) 「巣立つのは早い!!」アピール。〔子どもの成長を見逃さない。日頃から子育てに関わるよう促す〕
A4	保育士	(1) 昔よりは関わっていると思う(ここ最近出産した方の旦那さん、立て続けに育休をとっている)。(2) <u>その人の意識を変えるしかない。お母さんの大変さを知らせる!</u> 〔「人のふりみて」周りがやってるから自分も、につなげる〕
A5	児童会館	(1) Yes。増えてきていると思う。(2) <u>性別役割分業意識を打ち砕く</u> 。〔ジェンダーの意識・垣根を取り払う〕
B1	保育士	(1) 全く関わっていない方とよく関わっている方の両極端。増えた体感があります。今は女性(母)の方が長時間働いている家庭も少なくはないので。(2) 育休をとる!! 育休と言わずともその時期は短時間勤務など。母親もそうですが、子どもとの関わり方が分かれば(「分からないから」「見れないから」という方もいるので)。
B2	幼稚園教諭	(1) お父さん参加は増えていると思う。(送迎、参観、行事への参加が多い)(2) お父さんの良さ(特技)を活かす。言葉をかけていく? (「おやじの会」など)
B3	NPO 等	(1) 差が大きい。関わっている人はすごく関わっている。一方、子どもに関心のない(と思われる)父も一定数いると感じる。(2) -
B4	保育士	(1) Yes (2) 高校、大学も小学校などで赤ちゃんと関わる授業をもっと増やす。 <u>「子育ては社会がする」</u> のがかっこいいと思えるようなCMなどを流す。
B5	児童会館	(1) 関わり方はどうであれ、子育てに関わっていると感じる。(2) 父親に限らないが関わり方がわからないケース多いかも。 <u>父親向けの子育て支援の場、親子ふれあいの場を作っていく。</u>
C1	民間児童育成会	(1) Yes (2) 昔から一緒に頑張ってくれていると思う。〔他の家族のお父さんを見る・気付く〕
C2	幼稚園教諭	(1) 増えていると思うが、施設によっては違うかも。(2) 男性保育士の増員。子育ては男女関係ないという意識を育てる。 <u>お父さんだけが参加する行事を作る。育休を取ったらキャリアアップとか?</u> (企業にお願いしたい)。
C3	幼稚園教諭	(1) Yes (2) <u>保育園行事への参加の機会を増やす。</u> お父さんにもお子さんの姿のエピソードを話す、興味を持ってもらう。
C4	保育士	(1) Yes (2) 子育てに対しより一層意識が強まるようなきっかけづくりとか。
C5	NPO 等	(1) Yes (2) <u>子育てに関わっているお父さんの話を聞く場を設ける</u> (子どもと一緒に寝る、休みの日は子どもと出かけてくれる、習い事の時子どもを見てくれる、などの子育ての話を聞く)。(「おやじの会」父親も参加する交流機会の創出(BBQ、キャンプ、山登り等))

Q6 最後に、子育て・子育て支援に関して「札幌市にこれだけは訴えたい！」ということがあれば。

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
A1	NPO 等	活動場所の後押し（なかなか借りられない）。このままでは老舗の拠点がつぶれてしまう（官民協働、人件費等のアップ、国の施策に照らし合わせ市はどう対応するのか？）。今後は多世代に焦点を。拠点に向け「そろそろお昼とりましょう」発信してほしい。
A2	幼稚園教諭	誰もが平等に支援していただけることを期待します！！ <u>わかりやすい情報も！子育てをしている側も！支援する側にも！</u>
A3	保育士	賃金を上げてほしい。保育の良さを伝えてほしい（情報公開）。子育て窓口の充実。
A4	保育士	賃金を上げてほしい！（あと人手も確保してほしい）。保育士=低賃金、残業多い大変なイメージ→これを変えないと人手不足解消ならない！！
A5	児童会館	必要な時に必要な情報、機関とつながるように。 <u>支援者側には十分な人材を。</u> 子育てしながら保育士、幼稚園等で働いている人の時間を短縮したり働きやすくしたりしてほしい。とにかく人手が必要！！今働いていない20代～40代の子育てしている資格持ちの人が戻ってくるかも？！子どもの笑顔には大人の笑顔が必要。保護者、支援者も笑顔で過ごせる仕組み作り。〔情報発信（子育ての良さ、支援の情報など）〕
B1	保育士	<u>保育士の賃金を上げる。人手不足の解消。</u> 仕事中しっかり休憩とりたい・とらせてあげたい。働きやすい制度（特に時間）。今日のような情報共有、交換の機会を関係者＋親たちにも。もっと気軽に。
B2	幼稚園教諭	保育者が相談できる場。気軽に子育て相談ができる窓口を。保育時間を短く…（乳幼児を持つ保護者の働き方を変える）。親子の遊び場（土日も利用可）。できれば保育士が常駐してアドバイスできるように。 <u>保育士の確保。この仕事の良さのPR！</u>
B3	NPO 等	「子ども」にフォーカスして生まれる前から大人になるまで一貫した見守り。例え引越したとしても継続させる。0才の時の訪問をもっと増やしてほしい。地域の居場所をもっと細かく。誰でも行けるところを公共でつくる。困ったときの相談場所（ハードル低いものを）。NPOが足りていない。2号の子、特別支援の補助金も。ファミサポ・緊サポ無料券など。
B4	保育士	保護者への子育て支援同様に、幼稚園・保育園支援にも力を入れてほしい。幼稚園・保育園には女性の職員が多い中、産休・育休へのサポートを手厚くしてほしい（ <u>人員不足へつながる</u> ）。また、男性保育士の育成へ力を入れるべき！！（保育士を増やすために）。〔常に人がいなければいけない〕
B5	児童会館	賃金。人手不足。辞めていく人が多い。〔時間によって人の過不足がある〕
C1	民間児童育成会	<u>指導員に給与を上げるために補助金を上げてほしい。</u> 国に訴えていってほしい。協力できることがあれば要望してほしい
C2	幼稚園教諭	保育園への補助金をもっと増やしてほしい。育施設を選ぶときのアドバイザーを設置。〔金額で決定するのではなく施設を選べるように〕
C3	幼稚園教諭	私立にもっと助成を！！予算を増やしてほしい（給料面も）。現場で働く人の声をつなげてくれるトップや政治家が現れるといい。
C4	保育士	保育士を増やす。保育士1人に対しての子どもの人数を減らす。
C5	NPO 等	0才から保育料無償。せめて保育園も3才児になったら保育料を無償に。幼・保・認の一元化。わかりづらすぎる。利用者支援事業を各拠点で実現。